

テープ起こし 発言者	発言内容	議事概要 発言者	発言内容（議事概要 13 頁） https://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5463794.pdf
三澤委員	あともう一点なんです、さきほどですね、周りにコンクリで覆うっていうんですが、これ、じゃあ、耐震設計、S、B、Cのクラスには入ってないってことですか。	三澤委員	あともう一点なんです先ほど、周りはコンクリートウォールということですが、耐震設計S、B、Cのクラスも入ってないということですか。
関西電力	すいません。関西電力井岡でございます。一応ですね、耐震クラスは今Cクラスで設計することを考えてございます。	関西電力	関西電力井岡でございます。耐震クラスは今Cクラスで設計することを考えてございます。
三澤委員	そうですか。ということは、 Cということは大きな地震があったら壊れる可能性がある	三澤委員	Cということは大きな地震があったら壊れる可能性がある
関西電力	はい	関西電力	削除
三澤委員	<u>ということですね。</u>	三澤委員	ということですので、
関西電力	はい	関西電力	削除
三澤委員	これはですね、やはり、これが壊れるというのは非常に、安全性というよりも、これは住民の方への信頼というか、イメージということでは非常に良くない。それなりのを本当は造んなきゃいけないんですが。分かりました。Cということですね。これを上げるという必要はなかったという考えですね。 Bとかには。	三澤委員	やはりこれが壊れるというのは非常に安全性というよりも、住民の方への信頼性というか、イメージが非常に良くないので、それなりに本当は作らないといけないんですが、分かりました。Cということですね。これ（クラス）を上げるという必要はなかったという考えですね。
関西電力	Bクラスということは、遮蔽性能、ある意味ちょっと耐震も上げるということなんですけど、 B型の要求事項まで上げるということとは我々としては考えてなくて、C型でしっかり耐震性を確保していく というのが	関西電力	この部分は全文書き換え 耐震Bクラスは、放射性物質の放出を抑制する施設等に求められるものであり、乾式貯蔵施設の建屋は九州や四国の方式も含めCクラスで、乾式貯蔵の国のガイドラインでも定められているものです。キャスクそのものが堅牢で、建屋に放射性物質の放出抑制の機能を期待していないということからそのように設定されているものです。
三澤委員	C型、C型という言葉はないと思うんです。Cクラスですね。		
関西電力	失礼いたしました。Cクラスです。申し訳ございません。		
三澤委員	分かりました。はい。私からは以上です。		